



J A 鶴岡復興支援プロジェクト 墓地のがれき清掃と、 お米配りを実施しました

J A 鶴岡では11月5日、宮城県東松島市を訪れ、職員9人が新東名地区の共同墓地清掃作業を実施しました。

この取り組みは6月から取り組んでいる「J A 鶴岡復興支援プロジェクト」の一環で、今回で9回目の現地活動。

この日はJ A 鶴岡の職員その他、山形大学農学部の実生ボランティアと一般参加者の計26人が鶴岡から参加しました。

作業した共同墓地は、津波被害が特に大きかった沿岸部にあり、今回で3度目のがれき清掃にも関わらず、いまだ多くの漂流物に覆わ

れています。参加者は倒れた墓石や地蔵などに注意を払いながら、がれきを運んだり生い茂った雑草の処理に取り組みました。

また、この日は参加職員全員で市街地を巡回して、当J Aの組合員より善意で提供いただいたお米を配りながら被災した方々との交流を図りました。

一方、10月22日には職員4人が同地区を訪れ、山道に避難経路を確保する作業や集会場の清掃活動を実施しています。

今後、冬期間は仮設住宅地などでの炊出し支援を中心に、J Aでは継続して支援活動に取り組みます。



住宅地を巡回して、組合員の方々から無償提供いただいたお米を被災された方々に手渡しました。(11月5日)



地域の方々が集う集会場として使用予定の旧グループホーム建物を清掃しました。(10月22日)

■参加者

鈴木大亮 (企画総務課)
小泉倫子 (人事課)
五十嵐浩紀 (米穀畜産課)
小松浩 (南支所)
加藤晃子 (大山支所)
福原英喜 (西郷支所)
阿部奈緒 (西郷支所)
齋藤菜穂子 (西郷支所)
木村優友 (J A G西郷店)

■活動内容

【AM】 共同墓地の清掃
【PM】 お米配り・傾聴活動

■その他

当日で年内の現地活動を休止する団体や個人が多いことから、ボランティアと地元住民の交流イベントが催されました。J Aでは交流会への参加はできませんでしたが、イベントに一役買おうと芋煮汁の材料を50人分提供しています。